

運動会を学級づくりに 生かして



運動会は子どもの力を大きく育てるチャンスよ。せっかくだから運動会を学級づくりに生かしていきましょう。

二学期が始まってすぐに運動会の練習。慌ただしくて子どもも落ち着かないし、忙しいし…。

運動会は子どもたちが楽しみにしている大きな行事のひとつです。運動会を秋に実施する学校では、二学期が始まってから、慌ただしい日々を送ることになります。

新採の年は、種目決めも指導のしかたも学年の先生に教わりながら、何もわからないままただひたすら動いて終わった思い出がありません。学級は、夏休み明けの子どもたちの落ち着かない様子のまま運動会の練習に突入し、運動会が終わるまでずっとざわついていた：そんな苦い思い出も。

運動会は大きな行事に向かってみんなで力を合わせる心地よさをたっぷり感じさせることができます。それは学級をひとつにまとめていく大チャンスなのです。

1 クラスやチームが一丸となるために

○ 場づくりのポイント

クラスやチームが一丸となって運動会に向かうために、練習時には次のような友達同士で話し合う場や、お互いの頑張りを認め合う場をつくるのが大切です。

場の設定の例

○ 団体競技… 作戦を考える場

○ 表現運動… お互いの表現を見合う場

教え合う場

など

○ 事情のある子も

A君は足に障害がありました。「団体競技は自分がいると必ず負けるから」と参加することをとても嫌がっていました。

作戦を考える場では、そんな様子を見ていた他の子どもたちから、特別ルールをつくることの提案がありました。もちろん相手チームも特別ルールを快く承知してくれました。その結果、他のチームと五分に勝負できるようになり、真剣に取り組むA君の姿を見ることができました。

運動会本番ではA君のいたチームは僅差で負けてしまいました。でも、A君もチームの友達も笑顔で頑張りをたたえ合うことができました。勝敗よりも大事なものを子どもたちは手に入れたようでした。

○ 先生よりも友達同士で

なかなか上達しない子どもに対して、先生が「練習しなさい」と言うよりも、友達に「一緒に練習しよう」と誘われて練習したり、アドバイスをもらったりする方が効果的です。

ダンスや民舞などでは、練習時にお互いの表現を見合ったり、教え合ったりする場をつくると、休み時間に自主的に練習したり、教え合ったりする子どもの姿が見られるようになります。練習している子どもを見かけたら、さりげなくほめることで、自主的に練習する子どもの数が多くなっていきます。

できた喜びを友達同士で共感することができ、つながりも深まります。

それいけ!

新米先生

○ めあてをしつかりと

ただなんとなく取り組むのではなく、はっきりした目標をもたせる工夫をするのも大切です。目標は細かく設定し、練習時間ごとにめあてに対するふりかえりをさせることで、少しずつ上達していくのが実感できます。

2 やる気高めるために

○ 頑張りカードの活用

頑張りカードを活用することで、子どもの様子をより丁寧に見取り、ひとりひとりと深くかわることが出来ます。子ども自身も自分の頑張りに気付き、自信を持ったり、やる気が高めたりします。

頑張りカードには、そのつど先生がコメントを書きます。子ども自身が気付いたことをほめたり、先生が見つけた頑張りを書いたりします。

目的に向かって頑張る姿や励まし合っている姿をたくさん見つけて、たくさんほめてあげることで、先生と子どもたちとのつながりも生まれてきます。

○ みんなの頑張り見つけ

練習時だけでなく、教室でも頑張りを認め合う場をつくりましょう。

例えば、朝の会や帰りの会に友達の頑張りを発表するコーナーをつくったり、お互いにメッセージカードを書いて交換したりする方

法などは、「みんなで頑張っている」という実感が持てます。

ただし、メッセージカードの内容は、子どもの手にわたる前に先生がチェックしないと、ごく稀に、心にもないことが書いてある場合もあるので気を付けましょう。

○ 環境づくりは教師が率先して

運動会に向けて、教室環境も工夫することで子どもたちの意識は高まります。

「運動会まであと○日」「今日の金メダルは××」などと、工夫をこらした掲示や教師からのメッセージがあると、子どもたちの気持ちもぐっと引き締まります。



○ 保護者にも頑張り伝えて

保護者にも、子どもたちの頑張っている姿が伝わるようにしましょう。学年通信や学級通信などで、頑張りカードに子どもが書いた

感想を伝えると、運動会本番だけではなく、そこに行くまでの努力がわかります。

また事前に表現運動での子どもたちの大きな位置や隊形移動での移動先を図で教えてあげると、写真撮影やビデオ撮影をしたいご家庭に喜ばれます。

3 行事を通して心も体も

子どもたちは大きな行事を経験するたびに心も体もたくましく成長します。運動会は一年間の中でもとても大きな行事です。せっかくのチャンスですから、忙しいだけの行事で終わらせず、子どもたちが充実感や達成感を味わい、満足して、心を豊かにできる運動会にしたいですね。

運動会後の「頑張った」「楽しかった」という子どもたちの笑顔が、きつとまぶしく感じられるはずですよ。

